

まちの声



今回の「まちの声」は、1区4町内にお住まいでNPO法人わかち愛ひろばもせうし理事長「水上 明さん」から、お話を伺いました。



Q 議会だよりの感想

A 議会だよりは、毎回の議会の内容や議員のみなさんの質問をわかりやすく編集されているので読みやすいと思います。議会傍聴には時間が合えば必ず行くようにしています。この間の議会傍聴者が多くなってきたと実感しています。質問される議

員も多く、それだけ議会だよりをみて関心が広がってきていると思います。しかし、議会傍聴に行こうと思っても議会日程が十分に周知されていないので改善、努力してほしいです。

Q 議会だよりへの要望

A 議員の質問、答弁が主であり、その結果、どう具体化されたか、どの様に变化してきたのかも出来れば載せてほしい。町民の声を吸い上げ町行政に反映させるためにもいろいろな場に足を運び直接聞きし、町民と議員が一体となって町政に関われる問題を掘り下げ、町民と一緒に考えてもらうように問題提起をし、町民に時間が掛かっても知らせていけるものに心がけてほしいと願っています。議会だよりは、議会と町民の

橋渡しだと思っています。それから議会活動が町民に見えて来る気がします。

★わかち愛もせうしひろばの活動についてご紹介★

わかち愛もせうし事業を始め6年となります。「町民の皆さんが集まる居場所を」と、わかち愛食堂、ふまねっと、総合事業、冬まつり、収穫祭等、高齢者のみなさんや若者のみなさんが気軽に参加できる取り組みを行っています。スタッフやボランティアのみなさん、社協や関係機関等に支えられながら活動を続けられてきたと思っています。今年2月から6月にかけ新型コロナウイルス感染症対策で国や道、町も諸行事が中止や自粛と言つ中で、前者の事業も6月初旬まで活動を中止していました。中旬に自粛がとけ3蜜にならないよう、マスクを着用、こまめな消毒をと参加者の協力のもとで取り組んでいます。



編集後記

例年ですと四季折々の催事があり、その時々季節を感じておりましたが、今年昨年12月の中国で発生した新型コロナウイルス感染症により本町においても様々な社会活動が延期・中止・自粛となりました。全世界に拡散されたこのウイルス感染症は、未だ終息も収束にも至っておりません。あらためて犠牲になられた方のご冥福を心からお祈り申し上げます。

また、北海道スタイルとして、マスクの着用・手洗い・健康管理・室内換気・人と人との接触機会を減らす・咳エチケット・積極的に人に知らせる。この7つが北海道知事によって発表されました。

未曾有の災禍の中、国民一人一人がこの難局に立ち向かわなくてはなりません。町議会におきましては、最善のものを見出すため議論を交わしております。こんな時こそ町民の皆様方に寄り添いたいと思います。お気づきの点やご意見・ご要望などがありましたらお知らせ下さいませようお願い申し上げます。

広報特別委員会

- 委員長 佐々木和夫
- 副委員長 田中 春夫
- 委員 渡辺 倫代